

第6回 (仮称) みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会記録

日時 令和8年2月14日 10時00分から11時30分
場所 八千代市緑が丘2-4 新木戸小学校 2階 ICTルーム
議題 1 報告

- (1) 施設・設備 (A部会)
- (2) 通学路整備 (A部会)
- (3) 学校運営 (B部会)
- (4) 保護者・地域連携 (C部会)
- (5) 開校式・開校記念式典 (全体事務局)

2 連絡

3 その他

公開又は

非公開の別 公開

出席者 <以下敬称略>

佐々木俊一, 菅谷貢, 一雅雄, 岡田久恵, 岡本宗之, 濱崎宏伸,
諏訪大輔, 倉橋正明, 阿久津博一, 瀬口朗子, 丹治貴史, 兒玉健司

事務局 学務課長 片波見昌浩, 教育総務課長 渡邊久貢, 指導課長 加藤英昭
保健体育課長 宗像 洋, 教育センター所長 向 智広
生涯学習振興課長 井澤延浩, 青少年センター所長 野木 雅生
学務課主幹 高岡洋介, 指導課主幹 安蔵重幸

傍聴者定員 5名

傍聴者 1名

事務局 おはようございます。

本日はご多用の中ご出席いただき、ありがとうございます。会に先立ちまして、嶺岸教育長からご挨拶申し上げます。

教育長 おはようございます。

ご多用の中、ご出席いただいている佐々木委員長含め、設立準備委員長含めて、設立準備委員の方々、本当にありがたいと思っています。

設立準備委員会は、令和6年の8月に発足して、今回の第6回が、開校前最後ということ伺いました。

4月に開校するこの学校におきましては、これまでの学校の開校と違って、苦慮した部分については、まず、学区から少し離れていて、新木戸小学区の中にできている、敷地が限られている、そして駅前というところなど、いろいろと苦慮された部分があったと思いますが、何よりも、通ってくる子ども

たちのため、そして保護者の方々も含めた思いを真ん中に置いて、本当に苦心する部分があったと思います。その中で、きめ細かく、そしてそれぞれ意見を交わしながら、何が今最適解かということをしかりと進めた中で、丁寧な、そして何よりも、皆さんの思いの中で共にいいものを創ってほしいという想いの共想、そして、最終的にともに作っていく共創。この共創に向かって、設立準備委員会の存在がなければ、開校までこなかったのではないかと思いますので、本当に改めて教育長として感謝申し上げます。

私が前回、ご挨拶させていただく中で触れた部分と重なるのですが。私も、令和4年度になりますが、本市で初めての、1年生から9年生が在籍することとなる阿蘇米本学園の校長をやらせていただきました。その前には閉校する阿蘇中学校の校長、その前には教育次長として、教育行政として、12年かかった学校を、開校するための準備から関わり、そして開校してからの運営に携わりました。そして今現在、その阿蘇米本学園は4年目が終わろうとしている。そのときにも、設立準備委員会というものがありました。そのときの思いと重なり、本当に改めてこの設立準備委員会の方々の、先ほど言いましたが、子どもたち、保護者そして地域の思いが、ハーモニーとして重なっていくために、この設立準備委員会という存在がなければ本当になかったなというように思っております。

先ほど佐々木委員長に、「佐々木さんの顔を見るとほっとするんです。」と話をしたのですが、委員長、ここまでの思いを1つ2つお話いただけるとありがたいです。

委員長 教育長から無茶ぶりをいただきました。

教育長、実は私、最後に良いことを言おうと思っていたので、ここではあまり言えませんが、本当皆さん今日はお疲れ様でございます。ありがとうございます。

後程少し話そうかなと思ったのですが、何より、この会議で6回目ですが、第1回目は本当全員がそろった中で、私が委員長、そして瀬口先生が副委員長となることを決めた会ですね。

途中、2回3回4回当然進めて参りましたが、どうしても皆さんはお忙しく、全員揃わないことが何回かありましたけれども、最終回、また皆さんが全員揃っていらっしゃるといのが非常にうれしいなと思っております。

この会議をやりながら、実は耳の痛い言葉をいただいたり、逆にこちらも、強い言葉を言ったりとか、なかなか教育長には言えないようなことも、結構ありましたし、もっと言うと教育委員会の課長の皆さんには、優しくないとらえ方をしたりもしました。

でもそのようなことをしながら、1年半、皆さんの力を本当に発揮してい

ただいて、喧々諤々、でも目的は1つだけ、地域の子どもたちのために頑張ろうと、本当にまっすぐ見て進めたのかなと思っております。

楽しいエピソードはなかなか言いませんでしたが、本当に、教育長含め、学校行政そして教育委員会の皆さんお疲れ様でした。

そして何より設立準備委員会の皆様、本当に助かりました。

ありがとうございました。

教育長 ありがとうございます。

本当に佐々木委員長、もう昔からの懇意にさせていただいて、ある意味、昔からの同志ということで、本当に心強く感じました。

そして私にも来るかなと思っている瀬口副委員長。涙をちょっと抑えて振り返りながら、お願いします。

副委員長 改めましておはようございます。

この部屋に入ってすぐ、佐々木委員長から、「瀬口先生、終わっちゃうね。寂しくなってしまうよね。」と、最後ということでお話があったときにそうかと改めて思ったところです。

本当に、この学校がスタートするときには、保護者の不安しかなかったところからスタートだったので、皆さんとの話し合いを経て、また作業部会でも本当いろんなことを話しながら、ここまで進めてくるのができたので、本当にいよいよ始まるのだなと感じました。自分の中で、4月がまだ先で、学校でもやらなければいけないことがいっぱいあるので、まだそこまでの気持ちになっていないところもあるのですが、この会としては最後ということで、今日の話で皆さんと大切にしていきたいと思います。

よろしくお願いします。

教育長 ありがとうございます。

本当に、瀬口校長については、みどりが丘小で3年間、1300人近い児童の校長として本当に職員を束ねて、地域の信頼を得るような、地域に根づいた学校を作っていただきました。そして今回、このような設立準備委員会の中でうまく教員サイドの思いもつなげていただき、ありがとうございました。

本来は皆様お一人お一人のご意見いただきたいところですが、この後、会議が終わったところで、教育委員会職員の方から聞きたいと思っています。

最後になりますが、みどりが丘第二小学校は「みどりが丘小学校の連携校」というコンセプトで始まったと思うのですが、その根幹は、変わらずとしても、先程も言いましたが阿蘇米本学園に寄せる部分があります。それは、今回4月に開校しますが、やはり先程言ったように子どもたち、保護者、地域、そして今回この設立準備委員会でもいただいた声を含めて、ある程度形になら

なければいけないものがあると思います。けれども、いい意味で未完成のまま、魅力ある学校を本当に作っていくことが大切かなと思います。

そして、設立準備委員会の方々含めて、子どもたち、先生方、保護者、地域を含めた、この学校に関わったすべての人たちがデザイナーなのだということ、この2つのコンセプトを、本当に大切しながら、今現在開校の前のビフォアですが、開校後のアフターについても、末永く設立準備委員会の方々に、ご支援、ご協力いただきながら、いい意味で未完成が続いていく、そして、すべての人たちがデザイナーである。そのような未来の形のシンボリックな学校づくりに今後とも、寄与していただきながら進めていただければと思います。

言葉整いませんが、私としても、熱い男だというふうには自負しておりますが、熱い学校、そして通って本当によかったな、通わせてよかったなという学校を、今後作っていくということ、教育委員会としても全力を尽くしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。本日はありがとうございました。

事務局 それでは、皆さんのお手元の資料を確認させていただきます。

本日の資料はクリップ留めされておりますが、まず次第になります。今画面にも写されておりますが、こちらの報告にC部会を追加させていただきます。

続いて資料No.1が1ページ目から11ページまであります。資料No.2、みどりが丘第二小学校開校式、その次に参考資料として、阿蘇米本学園の開校記念式典の開催概要。最後に、資料No.3のスケジュールとなっておりますが、不足している資料はないでしょうか。

不足等ございましたらお伝えください。お願ひいたします。

では進行を、委員長お願ひします。

委員長 それでは皆様、今日もよろしくお願ひいたします。

先ほど少し申しましたが、本日は全員の参加をいただいております。ありがとうございます。

『(仮称)みどりが丘小学校分離新設校』設立準備委員会」設置要領第六条第2項に基づき、出席者が過半数を超えておりますので、本日の会議は成立することを確認いたしました。

ただいまより、第6回「(仮称)みどりが丘小学校分離新設校」設立準備委員会を開催いたします。

それではお手元の次第に従って進行して参ります。

まず初めに、1番、報告です。「(1)施設・整備」について、教育総務課よろしくお願ひいたします。

教育総務 新設校の「施設・設備」についてご報告をさせていただきます。
課 長 本日の委員会後に委員の皆様によります、現地視察が予定されておりますので、ここでは簡潔にご説明をさせていただきます。

現時点における工事の進捗状況については、内装工事や外構工事など仕上げとなる工事を中心に行っているところです。

進捗率で申し上げますと、およそ85%から90%となっております。

3月中旬を工事完了として、最終的な検査は3月25日。その検査が終了次第、完成ということになります。本委員会後の視察の際には、まだ工事中でするので、各自ヘルメットの着用をお願いいたします。

次に、備品についてですが、みどりが丘小学校の先生方からご意見を伺っておりまして、要望がございました物につきましては、すべて契約済みとなっており、順次納品できるように準備を進めているところです。

以上、報告事項となります。よろしくをお願いいたします。

委 員 長 ありがとうございます。

それでは、「施設・設備」について、ご質問等、皆さんございますか。特によろしいですか。後程、学校へ視察にまいりますのでその時に何かあればお願いします。

では、続いて参ります。2番項です。「(2) 通学路整備」について、保健体育課よろしく申し上げます。

保健体育 みどりが丘第二小学校の通学路の整備状況につきまして、現在の整備状況
課 長 と今後の方針などについて、ご説明いたします。

みどりが丘第二小学校の前を通る県道61号線については、今までもご説明させていただいてきました通り、図の赤いラインでお示ししている部分、学校の北側にある飲食店から、学校の1つ南側の交差点の少し先まで広い範囲で整備される予定です。整備の内容としましては、「歩道部の拡幅」、それから「ガードパイプの設置」、「歩道部のカラー塗装」を中心に、「学校前横断歩道の撤去」、それから「バス停の移動」が予定されています。

現在、「歩道部の拡幅」が完了していますので、その一部を紹介いたします。左の写真ですが、これは正門から北側を見た様子となります。ちょうどラーメン店の前のあたりの様子となります。それから右の写真につきましては、正門の南側、焼き鳥店前辺りの様子となります。現在外側線の位置が車道の中央にかなり寄せられて、歩道部分が拡幅されています。少し線を入れますが、これが以前の外側線となりますので、その位置が大分広がっていると思います。少し測ってみたのですが、広いところで3メートルぐらいあると認識しています。

それから、外側線の内側、つまり歩道側ですが、そこにガードパイプが設

置される予定です。設置されるのは、歩道が拡幅される範囲と同様に、赤いラインで示した範囲になります。車両の出入り等もありますので、そこに影響しない範囲で、広く設置される予定となっています。また、みどりが丘第二小学校の正門前は、車両の進入や、児童の交差点への飛び出しなどを防ぐために、ガードパイプが設置されますが、救急車両や、作業車両がどうしても入る必要も出てきますので、取り外し式のものが準備される予定です。ガードパイプの設置は2月末に着工して、3月中旬までには完了する予定と聞いております。

次に、「歩道部のカラー塗装」についてです。歩道部分を塗装する前に側溝のふたを、広範囲にわたり新しいものに交換すると工事担当者から連絡がありました。当初、これは予定されていなかったかと思います。蓋を交換した後で、歩道部分を塗装することになるため、工事の完了につきましては、少し遅れて、令和8年度の上半期になると聞いております。この点につきましては、一部整備内容と期日の変更がありましたので、ここでご報告いたします。

学校前の2箇所の横断歩道につきましては、3月中旬に撤去が予定されております。また、バス停の移動につきましては、工事の進捗に合わせて、適切な箇所に移動することをバス会社と確認しております。移動先につきましては、ガードパイプの設置等もありますので、教育委員会も事前に確認しまして、児童の安全に影響しないよう配慮いたします。

次に、こちらはショッピングモールから県道61号を渡った位置にある鉄道高架下の交差点になります。ご覧のように、横断歩道が整備されました。こちらは、みどりが丘第二小学校の通学路として設定はしておりませんが、現在新木戸小学校の通学路になっているところです。スクールガードさんが旗を持って立たれているところになります。今後の通学状況を見まして、もし必要であれば、みどりが丘第二小学校の通学路に設定する可能性も考えられますので、このタイミングで横断歩道を設置していただきました。

続いて学校の裏手、県道57号の高架下の交差点になります。ちょうど運送会社付近の交差点になります。ここにも横断歩道が設置されました。ここは緑が丘西1丁目からの通学路の選択肢の1つとなっています。

最後にゴルフ施設北の交差点についてです。緑が丘西1丁目からこちらの通学路を選択した児童は、この矢印のように、交差点の横断歩道を渡ることになります。今までお伝えしていた通り、八千代警察署からは信号機の設置は難しいと回答されています。しかし、その後の説明会などにおきまして、保護者の方から、信号機設置の要望が非常に強かったことから、設置に向けて新たな動きがとられましたので、ここで共有させていただきます。

緑が丘西自治会長様、クオンガーデン八千代緑が丘自治会員さんから、八千代警察署長、それから千葉県警察本部長宛に信号機の設置を求める要望書が提出されました。また、同じ時期に教育長名で教育委員会からも同様の要望書を提出しております。現在のところ信号機設置の可否については、回答をいただいておりますが、改めて検討していただいているところです。

4月の開校を控え、今後の通学路の安全対策についてお伝えいたします。まず信号機の設置も含め、現在予定されている整備が完了するように、引き続き関係機関に働きかけて参ります。開校後も、実際の児童の実態を把握し、学校や保護者の意見をもとに、通学路の整備に配慮して参ります。

通行する人数や交通量が多い箇所につきましては、教育委員会による見守りを行い、実態を把握し、安全対策を講じて参ります。新木戸小学校と通学路を共有する部分が多いため、例えば通学時間帯を分けるために、始業時間をずらすなど、双方の状況をよく把握し、適切な安全対策を行って参ります。

以上、みどりが丘第二小学校の通学路の整備状況と今後の動きについてご説明いたしました。保健体育課からは、以上です。よろしくお願ひします。

委員長 ありがとうございます。いろいろお骨折りが多かったと思います。今の点、皆さんご質問等ございますでしょうか。

委員 改めてこのハード面ですが、時間が限られた中、御尽力いただきましてありがとうございます。

新木戸小学校PTAとしては、ソフト面、先ほど教育委員会の方々の見守りも、検討中ということだったのですが、新木戸小学校とみどりが丘第二小学校の通学路は、やはり結構かぶる。特にここです。ですので、ここについては、ゆくゆくはみどりが丘小学校とみどりが丘第二小学校と新木戸小学校の三校合同のような形で、地域の交通安全の見守りというのは、検討を進めているのですが、この4月のタイミングでは、おそらくそこまでの準備を一気に進めるというのは現実的には、難しい部分だと新木戸小学校のPTAでは議論しております。まず、新木戸小学校として、旗振り予約システム、みどりが丘第二小学校の方々が使うための予約システムはもう我々の方で作りました。今のみどりが丘小学校と新木戸小学校も、同じシステムを使っているので、今後の新しい学校においても同様のシステムを使っていただくことで、みどりが丘小学校からそして新木戸小学校から転入する児童の保護者の方々も、使えるのではないかなと思っております。

ただこれは4月以降です。実際新しい学校が開校されて、新木戸小学校そしてみどりが丘第二小学校も含めて新しい児童が通学をするときに、また何か問題が起こる可能性もあると思うので、みどりが丘小学校の保護者会とも連携しながら、話を進めていきたいと思っております。情報共有です。

委員長 ありがとうございます。ご意見等、情報共有でよろしいですね。
他にございますか。

委員 少し重なるところがあるのですが、3点、一番最初の地図を見させていただいて、飲食店のところから手前の信号機がありますよね。その赤く示されている間は、整備されるのでしたでしょうか。

保健体育課長 一応整備はされる予定なのですが、歩道は拡幅されません。

委員 だから、ガードパイプというか、具体的にそこについて整備されるというのは、ほとんど拡幅はできない。ガードパイプも多分あの狭さでは設置できない。もうそもそもついているからですよ。カラー塗装するのは整備に入っていますか。

保健体育課長 入っています。

委員 そうすると、将来的にはその先の高架下のところを使えるかもしれないが、ひとまず、通学路として使わないけれどカラー塗装してしまうのですか。

保健体育課長 します。

委員 みどりが丘第二小学校の通学路において、先ほどそこが拡幅されないというところと、最初に高架下の横断歩道がつく、つかないというのが確実ではなかったもので、まず狭いということで、設定を外して、一度ショッピングモール側に渡るという話をしたのですが、できれば道路状況をこの際よくしたいという考えが、県の方にもあるようなので、できるところはやってしまうというところも入っているようです。

委員 なるほど。それであれば、わかりました。

二点目が、運送会社側のトラックがバックで会社に入るということで、業者の社長さんへの声かけを今後しますという話で、委員長からも早めにして欲しいという話があったと思うのですが、話はされたのですか。

保健体育課長 昨年度のうちに、業者に書面をいただいています。

委員 解説しますと、地図になって申し訳ないのですが、先程の裏手の県道57号ですが、この県道57号をトラックが来て、物を搬入するために、工場に入っていくような経路として使っているとのこと。

その時に、大型のため、一度で曲がりきれず、一度切り返しをして曲がっていく際に、切り換えしてバックするところが、ちょうど運送会社の近くの通学路にかぶるという話が出ました。

そこで、安全対策として、登校時間、それから下校時間の子どもたちが通る時間帯については、このトラックの出入りを控えてくださいということで、

この業者とは、書面で約束をしていますので、そこは大丈夫だと思います。以上です。

委員 これはできるようにという形で、お声掛けしていただきたいということで、あそこの赤い色がついたところの、排水管のにおいがまだ結構しているのですが、どのような感じでしょうか。

保健体育課長 おそらく、通学路の整備の中に入れ込むには、規模的に話が大きいので、またこの道路の整備とは別の部署にご相談していくしかないかなと思います。

委員 なるほど。わかりました。

もう1点、大型のマンションが、高架を越えた向こう側の映画館前にありますが、緑が丘西1丁目の人たちはその横断歩道を渡って映画館側に渡って、焼肉店まで歩くようなコースになると思うのですが、その風がすごくて、傘とかを持っていると、大人でも結構吹き飛ばされそうになるのですね。なにかその辺の対策はできないものかな。

保健体育課長 その話は前々から頂いているのですが、物理的になかなか防ぐということでは、現実的ではないというところでは。

ですので、持ち物の安全指導や、それから、当然、登校に危険が及ぶようなときには学校が休みになっていることも考えられるのですが、その日常的な、通学に使う際については、荷物の制限、それから歩道で待つところの位置や、子どもたちへの安全指導でカバーするしかないかと考えています。

委員 何かよくバス停にあるような屋根のようなものがあるではないですか。そのようなものをつけてもらうというのは難しいですか。

いや、結構大人でも、傘を持っていると飛ばされるし、時期によっては、傘を持ってなくても大人でさえ、体を持ってかれそうなので、確かに待つ位置を少し後ろにするというのはあると思うのですが。

保健体育課長 レインコートの着用するように勧めるとか、そのあたりで対応するしかないかなと現在のところは考えています。

委員 ありがとうございます。

委員 補足よろしいですか。

今委員さんがおっしゃっていただいたところの通学路なのですが、実際にその大型集合住宅に住んでいる人たちは、映画館側には渡らないで、通学路上高架をくぐって来ています。

保健体育課長 新木戸小学校の児童ですよ。

委員 こちら側に渡るタイミングがここですね。

委員 みどりが丘第二小学校の児童は渡ることになります。

委員 みどりが丘第二小学校の児童は渡るのですね。そうすると、スクールガードを、今時点ではここに旗振りのポイントにないのですが、この胃腸外科のところは、見守りポイントとしては追加しなければいけないというところは、我々認識をしており、必ず誰か1人、立たないといけないなと思っておりますが、物理的にすべては難しいと思うので、ここは少し協力して、何かできればと思っています。

委員長 他にご意見ご質問はありますか。

委員 先ほど見せていただいた資料で、今後の動きというか新木戸小学校と連携してという、文言があったと思うのですが。

今後、実際運用する中で、先ほど委員からもありましたが、いろいろ課題とか出てくると思うのですが、この仕組みとといいますか、フワッと連絡を取り合いましょうねという以外の具体的な仕組みというのが、旗振り自体のシステムは、みどりが丘小学校さんと、新木戸小学校さんで仕組みづくりをして、新しい学校含めて3校で旗振りをされていくと思うのですが、この課題とか、連携するというその教育委員会とか地域協働本部等含めてそういう連携など具体的な仕組みというのは何か考えておりますか。

保健体育 一番密に連携がとれるように、新木戸小学校校長、それから新設校の校長課 長 と、情報交換しまして、こちらの視点から必要だなと思うところは、随時お伝えしようと思います。

あとはスクールガードリーダー連絡協議会がありますので、そこで共有しながらとは考えております。

委員 わかりました。

委員長 ソフトの部分で、私は地域学校協働本部の代表もしていますので、一応、私が音頭をとるという形で、3つの学校、みどりが丘小学校そして新木戸小学校、このみどりが丘第二小学校、この3つの学校の通学路がかぶるよということで、会議体を作って昨年から少しやり始めています。

ソフト部分は結構、住民のみなさんでできるのですがやはり今、課長が言ってくれたように、学校サイドはやはり教育委員会の方、その情報交換、その縦の情報交換、それをしていただければ、より密になるのかなと思っています。

いろいろ負担も、皆が少しずつ負担をしなければならない、頑張らなければいけないなと思っていますけど。

ご意見ありがとうございます。他にご質問ご意見は。

委員 先ほどの委員のお話と少し似ている報告になります。

みどりが丘小学校でも、みどりが丘第二小学校に行く保護者に向けて、通学路に関してアンケートをとりました。

ハード面は教育委員会の方でいろいろかなり動いてくださったので、ソフト面で、見守りの場所をどこにしたらいいとか、子どもたちが安全に通えるようにということで、みどりが丘第二小学校の保護者に対して、どこに見守りとして立って欲しいか。どこにして欲しいかという内容を、アンケートをとりました。やはり一番声が多かったのが、ゴルフ施設北の丁字路。やはりあそこは車の量も多いですし、歩行者、自転車も多いということで、そこを見守り強化していかなければいけないなということで、話はまとまっています。

ただその見守りに関しては、本当に車の量も多いし、三方向から車が入ってくる。歩行者も通る。自転車も通るということで、先日、みどりが丘小学校の方で見守り会議というのがあったのですが、そこに八千代警署の方がいらして、そこで報告させていただきました。八千代警察署でも、以前とは状況が変わってきている。以前は車の量も多くなかったが、最近は車の量も増え、以前とは環境が変わってきているということでもう一度見直しをしていかなければいけないということで、お話をいただいております。

ですから少し信号機の設置とか、その辺の変化があるのかなというのは期待しています。

やはりハード面ではなくソフト面でも力を入れていきたいと思いますので保護者の方とも連携しながら、これからも、協力していきたいと思っています。以上報告でした。

委員長 他に委員の皆さんありますか。

委員 今の追加という形になるのですが、実際に旗振りをするにあたって、各学校での保護者会、PTAがあると思いますが、そちらで保険に加入しています。みどりが丘第二小学校に関しては、今回、みどりが丘小学校で少し募集をかけました。

しかし、保護者会が立ち上げられなかったものですから、実際に学校が始まってから立ち上がると思うのですが。立ち上がるまでは、無保険になってしまうので、早く学校で、保護者会を立ち上げて、そういった仕組みを作らないと、旗振りに参加ができない状況がございますので、そこは連携して、皆さんと整えていく必要があるかなと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はよろしいですか。

委員 今、ここまでの議論聞かせていただいて、改めて思うことは、まずはみどりが丘小学校の保護者の皆様、また、学校運営協議会を含めて、今回、みどりが丘第二小学校の新設に伴う、子どもたちの安全確保について、本当にご尽力いただいて、またご準備いただいて、ありがとうございます。

また新木戸小学区に入るということで、新木戸小学校の方も、保護者の皆様、また、学校運営協議会も含めて、お答えいただいて、本当にありがとうございます。

本来なら関係ないという言い方もあると思うのですが、こちらの地域は、緑が丘と高津の地域学校協働本部ということで、広くまとまって、取り組みがなされている地域の力は非常に高うございますので、その辺りのこともあるのだと思うのですが、新木戸小学校の皆様からも、お力をいただいて、今準備が進んでいるということで、改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

それで、実際みどりが丘第二小学校の保護者会にかかるような準備はなかなか事前には進まなかったということも承知しておりますし、開校した後に、保護者の組織はどうなっていくのか、そのあたりは、取り組むことになると思うのですが、例えば先ほどの具体で言うと、無保険の状態、立番をしていただくなんてことはきっとないでしょうから、前のスライドで申し上げますと3番目に書いてございます通り、当然教育委員会の方の体制でも、きちんと開校のタイミングで、子どもたちの安全確保、乗り出させていただいて、ソフト面の方でも、私どもの方も続けていきたいと思っておりますし、何より、これは、先ほど教育長も申し上げておりましたが、未完成の学校だと、そして地域の学校だと、やはり新しい令和の時代にふさわしい、コミュニティスクールとしての学校をどう育てていくかということで、ある意味八千代市にとっても初めての経験になるころだと思いますので、関係の皆様、特に高津・緑が丘地域学校協働本部さんのお力もいただきながら、私ども教育委員会の方としても、どのようなリードというか、導きができるかを考えながら、関係の皆様にご協力いただきながら、スタートして、そして進めていって、課題がまた生じていく中では、ご協力いただきながら、運んでいってそのような仕組みも、考えなければいけないなということを改めて認識した次第です。

そのようなことで、ぜひ今後ともご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。まずお礼ということで、お話をさせていただきました。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。では私の方からも少しだけ。

先ほどご質問の中で、車がバックするという運送会社のところの話ですが、会社の方へしっかり私も言わせてもらっていました。

あと、もう1点、皆さんが一番、本当に懸念しているゴルフ施設北の道路のところ、横断歩道や信号機のところですが、私も通っておりますが怖いなと自分でも思っています。先ほどご報告ありましたが、自治会の方で動いて

いただいて、要望書を書いてご提出いただいたということで、ありがとうございます。そして、教育委員会の方からも同様に提出いただいたということです。やはり地域の力とね、当然、行政、教育委員会の力で動くということが大事かなと思っています。

実は私も、八千代警察署長に話しました。あと県警の幹部にも、実は話に行きました。何とかしてというのは実際に話しています。先ほどもお話にありましたが、少し検討はしているかな、前に向かっていくかなと思っていますので、そのような働きかけを、まだ必要であれば私もしていこうかなと思っていますが、やはり教育委員会メインでよろしくをお願いします。

通学路の件については本当に皆さん関心が高く、そして、今までの議論の中でも、ここが一番ボリュームが多かったかなと思っていますが、非常に努力をされて、皆さんの意見も、くみ取りながら努力をいただいたということは、思っています。

まだ少し残ってしまったと、開校の後だよという答えがありました。一定の成果は、あるのかなと思っています。今、皆さんにありがとうございます。それではこの議論を閉じて参ります。

委員長 それでは3番項です。「(3) 学校運営」について。指導課よろしくお願いたします。

指導課 指導課からは、これまでに実施した学校経営に関するアンケートの結果を
主 幹 基に、新しい学校に大切にしていきたい方向性についてご説明いたします。

保護者の皆様、教職員の皆様、設立準備委員の皆様、そして、子どもたち、教育長の願いを、丁寧に受けとめながら、どのような学校を目指すのかを皆様と共有できればと考えております。

本日配付しました資料もご覧いただきながら、お聞きください。どうぞよろしくお願いたします。

まず学習面について、保護者の皆様から寄せられた意見です。アンケートからは、知識をただ覚えるだけでなく、自分で考え、疑問を持ち、粘り強く取り組む力を大切にしたいという願いが多く見られました。また、自分の考えを言葉で伝えたり、友達の考えを聞き合いながら、学ぶ、対話的な学びや漢字や計算などの基礎学力の確実な定着を期待する声も上がっていました。

次に、教職員からは、分かるまで考え続ける粘り強さや、苦手なことにも挑戦しようとする前向きな姿勢を大切にしたいという声が多く上がりました。また、1つの見方にとらわれず、多面的、多角的に考える力や、自分の考えを言葉や、様々な方法で表現する力も重視されています。その土台として、学級の安心感を大切にしながら、基礎学力を確実に定着させ、学んだことを、

生活に生かせる力を育てていきたいと考えています。

続いて、設立準備委員の皆様からのご意見です。ここでは、変化の激しい社会を見据えた力として、ネットやIT、AIの活用、自ら判断し、行動する力を大切にしたいという声が多くみられました。また、自分で考え、最後までやりぬく力や粘り強く取り組む中で、達成感を積み重ねていくことの重要性も挙げられています。

続いて、道德面について、保護者の皆様からのご意見です。相手の立場や気持ちを想像し、思いやりを持って、人と関わる力を大切にしたいという声が多く上がりました。また話し合いや会話を通して、学年や立場を超えて、人と繋がる力や社会のルールや約束を理解し、守ろうとする姿勢も重視されています。失敗を学びにつなげながら、自分と他者を大切にできる心を育てていきたいという願いが込められていると認めています。

続いて教職員の意見です。教職員からは、自分と他者の感じ方や考え方の違いを理解し、互いを認め合う力を大切にしたいという声が多く上がりました。また、困っている人に気づき、迷わず、手を差し伸べられる行動力や、相手の気持ちを踏まえて、最善の選択をしようとする姿勢も重視されています。道德の学びを日常生活につなげながら、子どもたちがよりよく生きる喜びを感じられる学校づくりを進めていきたいと考えています。

続いて、設立準備委員の皆様からです。ここでは、人に対する思いやりを持ち、困っている人に気づき、行動できる力を大切にしたいという声が多く挙げられました。また、立場や考えが違う他者を尊重しながら、関係を築くことや、インターネットやSNSを適切に使い、他者を傷つけない判断ができる力も重視されています。人との関わりの中で、自分のよさに気づき、困難にも粘り強く向き合える子どもを育てていきたいという願いが込められていると受けとめています。

続いて、生活面について、保護者の皆様から寄せられた意見です。保護者の方からは、身の回りのことや、準備、片付けなど、自分のことは自分で行う力を大切にしたいという声が多く上がりました。また、早寝早起きなどの規則正しい生活や時間や約束を守ること、失敗しても、投げ出さずに、最後までやり遂げる姿勢も重視されています。こうした力は、安心して学校生活を送るための土台として、大切に育てていきたいと考えています。

続いて、教職員です。教職員からは、自分のすべきことや、したいことを自分で考え、選択する力を大切にしたいという声が上がりました。また、早寝早起きや食事、運動など、健康的な生活リズムを整える力や、課題に前向きに粘り強く取り組む姿勢も重視されています。

続いて、設立準備委員の皆様からです。ここでは、困ったことや悩みを一

人で抱え込まず、必要に応じて人に相談できる力を大切にしたいという声が挙げられました。また、挨拶や整理整頓、時間や約束を守るなど、基本的な生活習慣や規律を身につけること、新しいことに一歩踏み出す勇気も重視されています。

続いて、どのような学校を作って欲しいかについて、保護者の皆様からのご意見です。保護者の皆様からは、通学路の安全や校門前の交通安全対策など、子どもたちが安心して通える学校づくりを望む声が多く上がりました。また、いじめのない学校づくりや、子どもの心や体の不安にすぐ対応できる体制。先生が子どもの声を丁寧に聞いてくれることも大切にして欲しいという願いが見られました。学校、家庭、地域が連携し、安心して、失敗や挑戦ができる、明るく風通しのよい学校を目指して欲しいという思いが込められていました。

続いて、教職員です。教職員では、誰一人取り残さず、多様性を大切にしながら、すべての子どもが安心して過ごせる学校を作っていきたいという声が上がりました。また、授業が楽しく認められる経験が、明日の登校が楽しみになるような学校。子どもの話をしっかり聞き、挑戦や失敗を受けとめられる環境も大切にしたいという意見がありました。

設定準備委員の皆様からのご意見です。皆様からは、校内や通学路の安全確保など、安全、安心を最優先にした学校づくりを望む声が上がりました。また、小規模校ならではの特色を生かし、子ども同士の関わりを大切にしながら、困難や失敗を乗り越える力を育てて欲しいという意見も見られました。さらに、学校からの積極的な情報発信や、保護者が気軽に来校できる開かれた学校づくりを期待する声もされています。

さらに、新しい学校に対する子どもたちの願いについても紹介いたします。子どもたちからは、友達に優しくしたい、みんなと仲良くしたい、いじめがない学校がいい、そういった声が多く聞かれました。また、楽しい勉強がしたい。みんなで楽しく遊びたいなど、学校生活そのものを前向きに楽しみにしている様子もうかがえます。

こうした素直な願いを大切にしながら、子どもたちが安心して過ごせる温かい学校づくりを進めていきたいと考えています。

最後に、どのような学校を作っていきたいかという、保護者、教職員、設立準備委員の皆様からのご意見を、全体として整理したものです。立場や視点は異なりますが、安全、安心を大切にしながら、子ども一人一人が大切にされ、前向きに成長できる学校を作りたいという思いが共通していることがわかります。みどりが丘第二小学校の校長先生には、安全、安心を基盤に、子ども一人一人が認められ、地域とともに成長する学校を目指して欲しいと

いう、皆様からの願いや思いを引き継いでいただき、学校経営方針に取り入れていただきたいと思います。

なお、校歌についてですが、B部会の中で、みどりが丘小学校にいる子どもたちの思いや願いも歌詞のヒントになるように、今年度中に言葉を集めて、新しい学校へ引き継いで、学校同士の繋がりを大切にしたい形に生かせればと考えてみました。具体的な校歌の作成は、開校後に校内で実行委員会などを立ち上げて始めることになり、新しい校歌を皆様に発表できる機会ができないか、新校長に引き継ぎたいと思っております。

本日は、保護者、教職員、設立準備委員、そして子どもたちの声を通して、新しい学校に込められた多くの願いを紹介してきました。これらの声を大切に受けとめ、今後の学校づくりにつなげていきたいと考えています。ご清聴ありがとうございました。

委員長 ありがとうございました。ただいま報告がありました。質問ございますか。よろしいですか。では、ありがとうございます。

続きまして、改めて(4)も保護者・地域連携の方を入れさせていただいております。「(4) 保護者・地域連携」について、生涯学習振興課よろしくお願ひします。

生涯学習 ご報告させていただきます。

振興課長 まず初めに学校運営協議会の現状についてです。

みどりが丘第二小学校につきましては、令和8年4月1日に、学校運営協議会がスタートできるよう、今現在準備を進めているところです。

こちらの学校運営協議会については、一般的な委員構成は、例えば、保護者の代表の方、こちらは保護者会やPTAの会長さんやそのOBの方、また地域で学校に関して、支援を行っていただいている方や元校長先生といった学校教育に関して識見のある方。さらにその学校長、教頭や教職員など、最大1校当たり15名で、活動をしているところです。少ないところでは5名6名の学校もありまして、多いところでは、本当に15名近い、委員さんが一堂に会して、学校の運営に関する支援についてどのようなことができるのかといったようなことを、協議をしています。こちらの現状については保護者会の方が、なかなかメンバー見つからないという中で、みどりが丘小学校の保護者会から1名、それから元校長1名、さらにまだ決まってはいないのですが、新設校の校長、それから教頭等の最小限の人数でスタートするということを考えております。これは、学校がスタートいたしまして、学校運営に関して、支援していただける方が、保護者会の方が固まり次第、学校の校長から、協議しながら、教育委員会に諮りまして、順次、任命をして、学校の運営の方に、協力をしていきたいと考えております。

これまでは、学校運営といえば、学校の教員がかなり主体となって進めてきたところですが、地域も一体となって参画をして、学校の運営の支援を積極的に行っているという制度です。こちらは令和8年4月1日から、市内すべての小中義務教育学校でスタートすることになります。また、これを所管するのが、我々の生涯学習振興課ということですが、実は正職員には、学校の教員はおりません。すべて市の職員が、教育委員会に出向して、担当しております。このように、学校だけではなく、行政も一緒になって、子ども、学校を支援して、よりよい八千代市にしていこうということも考えておりますので、引き続き、連携協力しながらよりよい学校づくりに努めて参りたいと考えております。

また保護者会につきましては、なかなか行政側から保護者会の組織について、意見を言うことというのが難しいところがございますので、大変お手をかけますが、学校、教育、子どものために、良い社会づくりになるようよろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。

委員長 ありがとうございます。報告をいただきました。

ご質問等ございますか。よろしいですかね。

では、改めて5番になります。「(5) 開校式・開校記念式典」についてということで、事務局から、よろしくお願ひします。

学務課員 開校式・開校記念式典についてご説明いたします。

まず、開校式の予定ですが、令和8年4月6日、月曜日、みどりが丘第二小学校体育館で行うことを予定しております。詳細の内容については現在検討中ですが、お手元の資料No.2をご覧くださいければと思います。仮に、阿蘇米本学園の開校式をもとに、内容の一例を挙げるならば、4次第に示されておりますが、このような形で児童が進行していくようなところが1つ考えられるのではないかということで示させていただきました。

また詳細については、みどりが丘第二小学校と詰めて参りますが、次第の(2)に「児童合唱」と、入れてあります。こちらは「大切なともだち」という曲ですが、実は、みどりが丘小学校と新木戸小学校で、両校が共通して歌える歌がないかということでご準備いただきまして、3月の「今月の歌」で歌っていくと聞いております。ぜひ両校からの児童が集まる形になりますので、開校式でも、両校の児童が歌えるこのような曲があったらいいのではないかなということで入れさせていただきました。どのような曲なのか、冒頭の部分を聴いていただければと思います

～ 曲 ～

学務課員 手拍子も入り、明るい曲です。両校の児童が歌えるということでよろしいのではないかなと考えておりますが、詳細は学校と詰めて、計画して参りた

いと考えております。開校式につきましては、設立準備委員の皆様にも、見ていただきたいと考えており、ご案内は、詳細が決定しましたら、お知らせいたします。また保護者の方にも見ていただくことで少しでも不安な部分を取り除ければと考えております。詳細の流れ等につきましては、決定しましたらまた改めてご案内をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

続きまして、開校記念式典です。

開校記念式典は、令和8年5月15日の金曜日に、みどりが丘第二小学校体育館で行う予定です。内容については、現在検討中ですが、参考といたしまして、阿蘇米本学園の開校記念式典の、参考資料ということで、お配りさせていただきました。阿蘇米本学園のときは、このような流れで、児童生徒が前に出ていくという形で、運営がされておりました。みどりが丘第二小学校でも同じように、児童の活躍できる場面がたくさん設定できれば良いのではないかと考えておりますので、今後具体的に内容を決めていけたらと考えております。

その中で7番、次第と書いてあるところのすぐ下に、米印で「動画上映」とございますが、こちらは、開校記念式典の中で、3校の小学校と阿蘇中学校の全4校で、閉校前から阿蘇米本学園の開校記念式典までの間の児童生徒の様子などを撮影し、記念動画として流したという経緯がございます。

こちら冒頭の部分を、少し、ご覧いただきます。

～動画上映～

学務課員 ご覧いただきましたが、このようなイメージでみどりが丘第二小学校の開校記念式典でも同様に記念動画の上映を考えております。

開校記念式典につきましても委員の皆様にご出席いただきたいと考えておりますので、詳細が決まり次第、ご案内の方をさせていただきたいと思っております。

本日、皆様にご報告させていただきましたが、方向性といたしましては、新しくできる学校であるということと、自分たちの手で作っていくということが重なってくると思いますので、児童の活躍する場面を多く取り入れて自分たちの手で学校を作っていくのだということを高められるような機会にできたらと考えております。

開校記念式典については、みどりが丘小学校とみどりが丘第二小学校の両方と調整しながら進めて参りたいと考えております。

皆様の方からも何かこういうことを取り入れたらいいのではないかとか、こういうことをできないかというアイデアがありましたら、この後、いただけたらと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

報告は以上です。

- 委員長 ありがとうございます。ご報告をいただきました。
今事務局の方から何かご意見をということをいただきました。
開校式、開校記念式典で、日にちとしては確定のようですが、内容について委員の皆さんからこんなことできたらいいなというのが、もし今思いつくことがあれば結構です。
改めて後日でもあれば、お願いしていただければありがたいのですが、まず今の段階で、何かご意見があればいただければと思います。いかがでしょうか。
- 委員 資料をいただいて、「大切なともだち」という合唱が書いてあって、どうやって練習するのだろうと実は思っていたのですよ。先生方や教育委員会の方で、計画を立てていただいて、ありがとうございます。
- 委員 音楽専科の先生が今月の歌を申請してくるのですが、音楽専科の先生が歌詞にこだわって選曲していて、いい歌詞を歌に込めて歌うことにこだわっていました。そこで今年度に関しては新木戸小学校と相談をして、3月には両校で、歌詞もとても良いし、この歌を歌って、4月を迎えられるといいねということで決定しました。
- 委員 私も、子どもが4年生にいますので、参加できると思ってもう休みをとりました。ありがとうございます。
- 委員長 他に、皆さんあれば結構ですが、ここで出すのはなかなか難しいかなと思いますので、改めてあるのであれば、事務局にご連絡をいただければと思っています。ではこの項を閉じて参ります。
ここまで報告事項5点ですが、皆さん、大丈夫ですか。問題なければ、今度は連絡事項です。よろしいですかね。
では、今、連絡に入ります。事務局、よろしく願いいたします。
- 学務課員 事務局からの連絡は3点ございます。
まず、お手元の資料No.3のスケジュールの方をご覧ください。
1点目になりますが、1月と2月の間にございます、下から2段目、その他というところです。
通学区域の変更に伴い、みどりが丘第二小学校へ通学区域が変更になるご家庭です。そのご家庭には、1月23日に「就学指定校通知書」というものを送付させていただいております。あわせて、入学予定の方には、入学通知書を送付させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。
続きまして、さらにもう1つ下段ですが、学校行事になりますが、先ほどお伝えさせていただきました、開校式、着任式、始業式は4月6日、開校記念式典の方が5月15日ということで予定を入れさせていただきました。
よろしくお願いいたします。まずこちらが1点目になります。

2 点目です。みどりが丘第二小学校に通うこととなるご家庭への説明会を、現在 3 月 14 日を予定して、計画をしております。決まり次第、対象のご家庭にはご連絡をさせていただきたいと考えております。あわせて、以前皆様からもありました、内覧会等についてなのですけれども、3 月中の開催というのは、非常に難しいものがありますが、やはり通っていただくにあたって、ご不安等を取り除いていけることが望ましいと考えておまして、4 月のできるだけ早い段階、開校前の段階で、もし可能であれば、実施できたらいいのではないかとということで調整を進めておりますので、こちらでも決まりましたら早急に対象の方にご連絡をさせていただきたいと考えております。

また、開校後も不安な部分などあると思いますので、担任の先生とできるだけ早く顔合わせができる機会の確保というものも、こちらで設定したいと考えております。3 月 14 日の説明会のときにはそのあたりも、具体的などころがお話できるかなと考えておりますので、ご承知おきいただければと思います。

3 点目です。先ほど教育総務課からもございましたが、会議終了後、みどりが丘第二小学校へ視察の方に行かせていただきます。ご参加いただける方は、お手数ですが、会議が終わりましたらお荷物すべて持っていて、職員玄関の前にお集まりいただけたらと思います。こちらの会場には戻りませんので、お忘れ物等ないように、お願いしたいと思います。

連絡は以上です。

委員長 どうもありがとうございました。

では、次第に戻ります。「3 その他」でございます。

委員の皆様も含めて、ここで言うておいたりとか、確認事項があれば、よろしく願いいたします。

よろしいでしょうか、ありがとうございます。

それでは本日の議題・議事はすべて終了となりますが、最後に、ご挨拶をさせていただきます。先ほど教育長にから指名されて話してしまったので、二度目で申し訳ないですが。

本当に皆さん 1 年半、いろんなことがありましたし、皆さんの立場でそれぞれの思いがぶつかり合う、しかし、それが形になったなと思っています。今日の各部会、教育委員会の課長さんたちの報告を聞いても、本当に私たち、まずはできたのだなと思っています。このチームで、ここにいらっしゃる皆さんの力でまずはできたのだなと思っています。

教育長から先ほど未完成という、お話をいただきました。確かに未完成の部分もございますが、それは必ずや、新しい学校の中で、校長先生そして、子どもたちも含めて、保護者、そしてなにより地域の皆さん含めて、その力

で、より前に進んでいけるのかなと思っております。

委員でいらっしゃる 12 名の皆さん、それぞれ学校の現場であったりとか、地域活動の中で、本当にご尽力、ご努力をされてる中で、この会議体、設立準備委員会というまた別のステージに集まりをいただきました。この会議の中でも、皆さん本当に、たくさんのご発言をいただきました。

私が一応委員長という、お役を賜りましたが、足りたかどうか全くわかりませんし、皆さんにお手間を多くかけたかなと思いますが、何より、重ねて申しますが、皆様に感謝いたします。ここにいらっしゃるような、そして携わってくださった皆さんがいたから、開校できるのかなと思っています。

さっき瀬口先生が言いましたが、本当何か寂しいですね。私だけでしょうか。皆様も同じですね。ご賛同ありがとうございます。

それでは以上をもちまして、第 6 回「(仮称) みどりが丘分離新設校」設立準備委員会を完了といたします。お疲れ様でございました。